

# 中国で出版されている絵本を読む

## Study of Several Picture Books Published in China

矢野 日出子

### ○要 旨

日本ではおびびたしい数の絵本が出版されている。新作絵本もさることながら昔から読まれている優れた絵本でも売れなければすぐに消えていく。長い間にわたり幼児に読み継がれていく絵本はそれほど多くない。故に保育者はそれらの素晴らしい絵本を伝えていく役割を担っている。

日本で人気のある絵本は中国でも多数、出版されている。日本の子どもが読んで「おもしろい」と感じる絵本は中国の幼児も「おもしろい」と感じるのであろう。それに比べ、中国にも素晴らしい作品が多々あるのに日本で紹介されている中国の絵本はまだまだ少ない。中国人作家の作品の中では、特に自国の伝統・文化を描いたものにすぐれたものが多いように感じる。それは自信をもって、そして自国に愛を感じて作られているからかもしれない。中国国内で出版されている中国、アメリカ、日本の数冊の絵本を日本語に訳してみることで、日中両国の絵本の素晴らしさを感じたい。

○キーワード 中国語 幼児 絵本

### ○はじめに

近年の中国の幼児教育には凄まじい発展ぶりがみられる。その一つとして、内外の多くの絵本が出版されておりとても興味深い。大国となった中国であるがともすれば忘れ去られようとする旧来の風習や故事、地方の生活習慣、家族の絆等々を殊の外、大切にしている。また諸外国に学ぶという姿勢はもちろんの事、中国は自国の伝統文化を熱心に幼児に伝えようとしている。実際に最近、出版されている絵本を読むことでこれらの事に焦点を当てて考えてみたい。

### 1. 中国独自の絵本

#### (1) 自国の伝統行事を伝える

中国は伝統文化を大変に重んじる国である。あるいは伝えていくことを大切に考えている。近年、国が発展するにつけ余計に伝えようとしている感がある。その一つに『过年』がある。

---

神戸親和女子大学 発達教育学部 児童教育学科 教授

これは『新しい歳を迎える』という意味をもつが、旧正月に当たる『春節』、中国の人たちにとり、とても大切な行事であり、幼児にも『絵本』を通して分かりやすく楽しく伝えようとしている。

① 『年』（文：熊亮 绘图：熊亮 2007明天出版社）



你们知道“年”是什么吗？

他是寒冬里的孤独感慢慢聚积而成的一个怪物。很久很久以前，有一个很孤独的怪物。他的名字叫做“年”。他住在高高的山上，从来没有人和他玩。

每到寒冬里最冷的那一天，他就会感到更加孤独。

也不知道为什么，他还会感到特别生气。于是，他就从高高的山上冲下来，去吓唬那落单的人。

皆さんは“年”が一体何者か知っていますか？ 彼は寒い寒い時に一人ぼっちの寂しさをギュッと集めてできた者です。

ずーっと昔、一人ぼっちの怪物がいました。その名は“年”と言います。

年は高い高い山の上に住んでいて、誰も彼と一緒に遊んだことはありません。

いつも冬の一番寒い日になると彼は余計に一人ぼっちになります。

そしてなぜだか分かりませんが、腹が立ってきます。そこで高い山から駆け下り人々を脅します。

求命啊！后来，大家都会在那一天聚在一起，放着噼啪响的鞭炮，挂上五彩的年画，举着火红的灯笼，做满桌的菜，穿上火红的衣服，热热闹闹地一块儿过年……“年”再也不敢出现了。

「助けて！」それからというもの、その日はみんな集まって、パチパチパチと爆竹の音をさせ、きれいな色の年画を掛けたり紅い灯笼に火を灯し、テーブルにはいっぱいのご馳走を並べ、真っ赤な服を着て年越しを賑やかに一緒に祝いました……。

“年”は姿を現す勇気がありませんでした。

一年又一年，人们在每一个冬天都会热热闹闹的过年。又过了很久，许多人甚至忘了“年”这个怪物。

过年是热闹的，可是总会有孤独的人。“年”会抓住那些孤独的人。“年”会突然跳出来，一直钻到他们心里。“年”会紧紧地笼罩着他们，使他们是加难过，更加寂寞。

一年また一年と経っていきました。人々は毎年、年越しの日には賑やかに過ごしました。そして何年も経つうちに、多くの人々はこの怪物“年”のことをすっかり忘れてしまいました。

年越しは賑やかです、でも一人ぼっちの人は必ずいます。“年”は孤独な人を逃さずに捕らえるのです。突然飛び出して来ては彼らの心を掴むのです。年はしっかりと彼らに覆いかぶさり、彼らをより悲しくより寂しくさせるのです。

甚至让他们心里充满怨气，简直要发狂。那些孤独的人就这样被“年”完全吞掉了。

不！不能这样！这个结果太可怕了！谁也不愿意这样！现在，让我们重新来过。

要从“年”的手中逃脱，其实很容易。首先，你要有过年的颜色，要有许许多多的红色。你还要忘记所有不并心的事，要打电话给所有你认识的人，祝他们新年好。即使和谁闹翻了，你也要在这一天说声“对不起，让我们在新的一年里重新成为好朋友”。记得要向所有的人说新年好！。

彼らの殆どは恨んだり狂ってしまうこともあります。このように孤独な人たちを年はペロリと呑み込んでしまうのです。

いや、こうであってはいけません。こんな風になるなんて本当に恐ろしいことです。

誰がこんな風になりたいのでしょうか？さあ、私たちはここで考えてみましょう。

年の手から逃れることはその実、簡単な事です。まずお正月の色を見てごらん下さい。

紅色がいっぱいありますね。そしてあなたは嫌な事、全てを忘れ、あなたの全ての友人に電話をし、彼らに「お正月、おめでとうございます！」と言うのです。

例え誰かが駄々をこねたとしても、あなたはこの日一日は「ごめんなさい。私たちは新しいこの歳いい友だちになりましょう。」と言うのです。

全ての人に「新年、おめでとうございます！」とね。

别漏下任何一个！对了，还有一位也别忘了。年！新年好！  
于是，连“年”也有点不好意思了…红了脸…越来越红…变呀变…  
变成一个可爱的新“年”了！新年快乐！

どんなものにも忘れないようにね。そうだった、まだ一人忘れてはいけない人がいました。  
「年、お正月おめでとう！」  
そして年も少しきまり悪そうに…顔を赤らめ…段々と紅くなって…変わってきました…可愛い新しい“年”に！新年おめでとう！

② 『春节的故事』（司 南：改编 朱 新建：绘图）

〈2016・3.21発行児童教育学研究 第35号

《中国传统节日故事》についての一考察 矢野 日出子〉より一部抜粋

この作品は『春節』の謂れを説いている作品である。昨年、上記紀要に発表したのが、①『年』とよく似ているが少し違った“年”があることに驚いた。尤も“年”の表情も登場人物も若干の違いはあるものの大筋はよく似ている。



很久很久以前，有一只凶恶的怪兽，名字叫“年”。它到处乱跑，糟蹋人们养的鸟，牛，羊，猪，狗，鸡，还伤了很多人的。  
天神决定惩罚“年”。她把“年”锁进深山，一年只准它出来一次。

昔々、「年」と呼ばれている凶暴な生き物がいました。人々の大切な鳥、牛、豚、犬、鶏、

そして人をも傷つけます。天の神は年に罰を与え、山奥につなぎ、一年にたった一度だけ出て来れるようにしました

可“年”到底哪天出来呢？老百姓不知道，整天提心吊胆的。一天天过去了，“年”没有来一月月过去了，年没有来。直到腊月的最后一天，年来了！

哎呀，它还是那么凶昂！见羊朴羊，见狗咬，见了人，瞪着大眼就要吃人！全村人聚到一起，商量办法对付年。大家想啊想啊，终于想出了一条妙计！

でも年はいつ出て来るのでしょうか？みんなは分かりません。いつもびくびくしていました。日がどんどん過ぎましたが年は現れません。月も替わりました。年はまだ出てきません。12の最後の日です。年が現れました！

あれ〜っ！やっぱりあんなに乱暴です。羊をみれば羊を襲い、犬をみれば犬に咬みつ、人を見れば今にも人に襲い掛かろうとします。

村の人たちはみんなで集まり、年をやっつける何かいい方法はないかと相談しました。

みんなは考えて考えていいアイデアを思いつきました！

以后，每到腊月，人们就赶紧做好准备：粮进仓，菜装坛，鸡进窝，牛回圈。

备刀枪，练弓箭，准备对付“年”。时间一长，大家摸透了“年”的脾气，发现它最怕鲜红的颜色。

它还特别怕火光，怕响声——这就好办了！

それからというもの人々は毎年12月になると穀物は蔵に入れ、食料は瓶に詰め、にわとりは禽舎に入れ、牛は柵の中に入れしっかり年が出て来てもいいように準備をしました。

刀や槍、弓矢の稽古をして年に備えました。暫くたってから、みんなは年が真っ赤な色、特に光、音を一番怖がることを突き止めました。－ これだッ！

腊月到了头，“年”来了。左一看：家家门上贴红纸，纸上都是它不认识的方块快，吓得它直哆嗦。

右一看：户户灯火通明，荷火灯，兔子灯，大红灯笼挂当空。吓得他直叫唤！妈妈们在厨房里忙碌，孩子们在客厅里玩耍。鞭炮声声响，噼噼啪啪，噼噼啪啪！

12月になると年がやってきました。左を見ると、家の門口には赤い紙が貼ってあります。紙は全部四角くて年の知らないものばかり、ブルブル震えさせるようです。右を見ると、家々の灯りは蓮の提灯、兎の提灯、大きな紅色の提灯が吊り下げようとしています。

年が叫び続けるように威嚇しています。

お母さんたちは台所で忙しそう。子どもたちは部屋で賑やかに遊んでいます。爆竹のパンパンパンという音が聞こえてきます。

锣鼓震天动地，人们又唱又跳。“年”吓坏了，赶紧逃跑！“年”跑回了深山，再也不敢出来了。

“年”不见了，“过年”的风俗却保留了下来。腊月的最后一天，家家都要准备丰盛的年夜饭。大年初一，家家贴上喜庆的春联，亲朋好友互相拜年，小孩子放花放炮。农历年过去，春天就要来了。

どらや太鼓が天地に響き渡ります。人々は歌ったり踊ったり楽しそう！年は怖くて怖くて慌てて山に帰って行き、もう出て来なくなりました。年は現れなくなりましたが

「年越し」の風習は残りました。

12月の最後の日、みんなは美味しい夜食の準備をします。

お正月、お家の戸口にはおめでたい春の飾りが貼られ、親しい友人たちは互いにお正月のあいさつをし、子どもたちは花火をします。農歴のお正月が過ぎ春がやってきます。



锣鼓震天动地，人们又唱又跳，“年”吓坏了，赶紧逃跑！



“年”跑回了深山，再也不敢出来了。

①と②の“年”は同じ名前で話の内容も ・人間を威嚇する ・人々に恐れられながらもどこか愛嬌がある ・最後には逃げて行ったり改心したりする ・人間の住む町から遠く離れた深い山に住んでいる ・人間は誰も見たことがない などとユーモラスな生き物でいたずらするものの憎めない、という様に描かれている。本来、深い意味のある过年や春節であるが、幼児が分かりやすいように“年”という猫でもなく狼でもなく犬でもない生き物を通して表現している。また“年”の挿絵も話も筋も異なっているのは面白い。

③ 『团圆』(団圓)(文:余 丽琼 图:朱 成梁 明天出版社)



给我的父母和哥哥，还有爷爷，永远怀念他。—余 丽琼

爸爸在外面盖大房子。他每年只回家一次，那就是过年。今天，妈妈和我都起的特别早，因为一爸爸回家了。

我远远地看着他，不肯走近。爸爸走过来，一把抱起我，用胡子扎我的脸。

“妈妈…”我吓得大哭起来。“看我给你买了什么！”爸爸赶紧去掏他的大皮箱——哦，好漂亮的帽子！妈妈也换上了爸爸买的新棉袄。

私の両親、兄、そしておじいさん、永遠に忘れません。—余 丽琼

お父さんは外地で家を建てる仕事をしています。彼は毎年一度だけ家に帰ってきます。それは年越しの時です。今日、私とお母さんは特別、早くに起きました。何故なら—お父さんが帰って来るからです。

私は向こうの方に彼を見つけても近寄って行こうとはしませんでした。お父さんが寄って来て私を抱きかかえ髭を摺り寄せました。

「おかあさん！」私は大声で呼びました。「お土産があるよ。」お父さんは急いでカバンの中から……、かわいい帽子！お母さんもお父さんのお土産の新しいコートに着替えました。

吃过中饭，爸爸对我说：“走，剪头去。剪了头，明年就会顺顺当当的。”

我坐在椅子上等等爸爸。呀，镜子里的爸爸越来越像以前的爸爸了！

包汤圆喽！爸爸把一枚硬币包进汤圆里：“谁吃到它，谁就会交好运喔！”

这天夜里，爆竹“噼噼啪啪”地响个不停。我依偎在爸爸妈妈中间睡着了，迷迷糊糊地，我听见爸爸妈妈在轻轻地说着话，他们说啊说啊……

お昼ご飯を食べた後、お父さんは言いました。「散髪に行こう。髪を綺麗にすると来年はいい歳になるよ。」

私は椅子に座りお父さんを待ちました。わっ、鏡の中のお父さんはだんだんと前のお父さんになってきました。

お団子だ！お父さんは一つの硬貨をお団子の中に包みました。「誰がこれを食べるかな？食べた人は幸せになるんだよ！」

その夜、「パンパンパンパン」という爆竹の音がいつまでも鳴り止みませんでした。

私はお父さんとお母さんの真ん中に寝ました。ウトウトしているとお父さんとお母さんの楽しそうな話声がいつまでも続きました。

第二天一大早，妈妈就端上了热腾腾的汤圆，爸爸用勺子喂给我吃。  
突然，我的牙被一个硬东西咯了一下。“好运硬币！好运硬币！”我叫起来。  
“毛毛真棒！快收到兜里，好运就不会跑掉喽！”爸爸比我还开心呢。  
妈妈给我换上了新棉袄，要去拜年啦！

翌日早くにお母さんは熱々のお団子を作り、お父さんは私に食べさせてくれました。

すると突然、私の歯にガリッと硬いものが当たりました。「お金だ！お金だ！幸せのお金だ！」私は叫びました。

「マオちゃん、すごいね！早くポケットに入れておきなさい。そうするとなくなるからね。」お父さんは私より楽しそうでした。

お母さんはお参りに行くので私を新しいコートに着替えさせてくれました。

路上，我遇到了大春。“毛毛，你去哪儿啊？”“我跟爸爸去拜年！”  
“我也是。看，我有大红包！”“这有什么稀奇！”我从兜里掏出那枚硬币，“我有好运硬币！爸爸包在汤圆里的，给我吃到了！”  
大年初二，天阴沉沉的，要下雪了。一天早，爸爸就忙了起来，补窗户缝，刷新灯泡……呀，家里一下子变得亮堂了。“走，补屋顶去喽！”  
爸爸冲我努了嘴。太好了，那儿是妈妈从来不准我一个人上去的地方呢。

途中、私は春くんに出会いました。「マオちゃんどこへ行くの？」「お父さんとお参りにいくの。」「僕もだよ。ほら、お年玉を持ってるの。」「これって珍しいでしょう！」私はポケットからあの硬貨を出しました。「私は幸運の硬貨を持ってるのよ。お父さんがお団子に入れてくれて私の食べさせてくれたのよ。」

翌日はどんよりしたお天気で雪になりそうでした。お父さんは朝早くから忙しく、

窓を塗り替えたり電球を洗ったり…、あら、家の中があつという間に明るくなりました。「屋上に行こう！」お父さんは私に言いました。嬉しい！屋上はお母さんが私一人では行かせてくれない所です。



哈，我看见了大春家的屋顶。“咦，那边是什么声音啊？”“噢，大街上在舞龙灯呢！”爸爸直起身子，看了看远处。“在哪儿在哪儿？”我是劲儿踮起脚尖。爸爸让我骑到了他的肩膀上：“这回看到了吧？”“看到了看到了，他们过来啦！”大年初三，下雪了，下得好大好大！下午，雪终于停了，大春他们来找我玩。我们在院子里堆了一个大雪人，然后开始打雪仗。天快黑的时候，我才回到家里，一摸口袋一啊，不见了！好远硬币不见了！我冲到院子里，院子全是雪，我的好远硬币在哪儿？

あっ、春くんの家の屋上が見えました。「あれは何の音？」「あれはね、街の龍灯の音だよ。」お父さんは身体を伸ばして遠い所を見ました。「どどこ？」私はつま先立ちをしました。するとお父さんは私を肩車し「見えただろう？」「見えた見えた。こちらへ来るよ！」

三日目、雪が降りました。どんどんどんどんたくさん降りました。午後、雪はやっと降りやみ春くんたちは私を遊びに誘いに来ました。

私たちは庭で大きな雪だるまを作り、それから雪合戦を始めました。

日が暮れかかる頃、私はやっと家に帰りました。ポケットを探すと…ありません！幸運の硬貨がありません。

私は大慌てで庭へ戻りましたが、庭は一面雪で真っ白です。私の幸運の硬貨はいったいどこ

へ行ってしまったのでしょうか？

“毛毛别哭，我再给你一个。看，跟那个一样！”爸爸摸出一枚硬币。  
“不要不要，我就要那个！”我一边哭一边叫。晚上，我难过地爬上床，脱棉袄的时候—“丁当”，有个东西掉到了地上。硬币！我的好运硬币！“爸爸快来看，好运没丢，它一直在我身上！”  
那天夜里，我睡得特别香……早上一起来，我就看见妈妈在为爸爸收拾东西—爸爸今天要走了。

「マオちゃん泣かなくていいよ。お父さんがもう一つあげるよ。見てごらん、ホラ、同じだろう？」お父さんは一つの硬貨を取り出しました。

「いない、いない。私はあの硬貨がほしいの！」私は泣きながら言いました。夜、私は泣き疲れてベッドに這い上がり、コートを脱ごうとすると…

「カラン！」何かが床に落ちました。硬貨です！私の幸運の硬貨です！「お父さん、きて～、お金は落ちてなかったよ、ずーっと私と一緒にいたよ。」

その夜、私はぐっすり眠りました…。よく朝早く目が覚めると、お母さんがお父さんの物を片付けていました…お父さんは今日、帰るのです。

爸爸很快就收拾好了，他走到我身边，蹲下来用力抱住我。  
他在我耳边轻轻地说：“下次回来，爸爸给你带一个洋娃娃，好不好？”  
“不！”我拼命地摇头，“我要把这个给你……”  
我把那枚攥了很久的暖暖的硬币放到爸爸的手心里：“这个给你，下次回来，我们还把包在汤圆里喔。”爸爸没说，他用力地点点头，搂着我不松手…

お父さんはすぐに片付け、私の側にやって来、しゃがみこんギュッと私を抱きしめました。そして耳元で言いました。「今度帰って来るときには西洋人形をお土産に持って帰って来るからね。」「いない！」私は必死でイヤイヤし、「これ、お父さんにあげる…」

私は長い間握っていたので温かくなった硬貨をお父さんの手のひらに乗せました。

「これあげる。今度帰ってきた時もまたお団子を作ろう。」

お父さんは何も言いませんでした。彼は力強く頷き私を引き寄せ、手をギュッと握りました…

『团圆』とは『団欒』の意味である。中国では家族や民族の繋がりをとても大切にする。お祝い事には団子を食べる習慣がある。これは団子の“丸”い形…つまり何事も円満に、という

意味を込めている。この話は、都会へ出稼ぎに行っている父親が一年に一度、春節に故郷に帰って来る話であり作者の追憶をベースに描かれている。

作者の『余 丽琼』は安徽省安慶、絵を描いた『朱 成梁』は上海出身で少年時代を蘇州で過ごす。つまり二人とも江南地方の出身である。そのため江南の地の特色に溢れた叙情的な世界が展開する。しかも親子の情愛であるとか、幼児の心、地方の習慣などが描き出され気持ちの和む話である。絵本全体にゆったりした雰囲気が漂ってくる。

爆竹、龍灯、石の橋等々中国の伝統が表現され、その情景と共にほのぼのとした和やかな気持ちになれる作品である。

絵本の裏表紙には次のような作者のメッセージが書かれている。

团聚，分別，再团聚，再分別……大大小小的团聚和分別构成了我们的人生。

—朱 成梁

出会い、別れ、また出会い、また分かれ…

様々な出会いと別れで私たちの人生は作られている。—朱 成梁

## 2 翻訳されている作品を読む

### ① 『妈妈，你在哪儿？』（お母さん、あなたはどこにいますか？）（崔 维燕：訳）

2007年アメリカニューヨーク公共図書館100選入選

2008年アメリカ「『保護者推薦』基金会推薦図書」

2014年度《ニューヨーク時報》「ベスト絵本」



玛丽亚有一个好朋友，是一只小老鼠。小小鼠也有一个好朋友，是一个小姑娘。  
玛丽亚和小小鼠住在同一座房子里。但是，这件事不能告诉任何人。  
因为，要是让玛丽亚的爸爸妈妈知道房子里有老鼠，他们马上会在家里养一只猫。  
如果小小鼠的爸爸妈妈知道女儿和人类交朋友，他们更定会让家里人整天都躲在地洞里。所以，玛丽亚和小小鼠，一直保守看这个秘密。所以，玛丽亚和小小鼠，一直保守看这个秘密。

マリアは一人の友だちをもっています。それは一匹の「ねずみ」です。  
ねずみは一人の友だちをもっています。それは「マリア」という女の子です。  
マリアとねずみは同じ部屋に住んでいます。でもこの事は誰も知りません。  
何故ならマリアのパパとママがこの事を知ったら、彼らはすぐに一匹の猫を飼うに違いないからです。例えばねずみのパパとママが自分の娘が人間と友だちと知ったら、彼らはきっと自分の家族を一日中、洞穴にどじ込めておくでしょう。だからマリアとネズミはこの秘密を守っています。

一个夏天的晚上，睡觉的时间到了，玛丽亚换上了睡衣。就在同时，小小鼠也正在换上他的睡袍。玛丽亚刷了牙，梳好头发。然后，她叫妈妈，「妈妈—」  
小小鼠也刷了牙，梳好胡子。然后，他也叫道，「妈咪—」

ある夏の夜、おやすみの時間になりました。マリアはパジャマに着替えました。  
同じ時、ネズミもパジャマに着替えようとしていました。  
マリアは歯を磨き髪を梳きました。それから彼女は「おかあさ〜ん」と呼びました。  
ネズミも歯を磨き髭を梳きました。それからネズミも「おかあさ〜ん」と呼びました。

玛丽亚爬上床。「妈妈快来呀！」小小鼠爬上床。「妈咪快来呀！」  
玛丽亚从床跳下来，站在楼梯口，大声喊道：「妈妈，你在哪儿？」  
小小鼠也跳下床，来到大厅里，大声喊道：「妈咪，你在哪儿？」  
但是，没有人答应，连一点儿动静都听不到。  
玛丽亚来到厨房，发现妈妈的咖啡杯里，有喝了一半的咖啡。  
小小鼠也来到她家的厨房，发现妈妈的茶碗里，还有满满的一杯茶。

マリアはベッドに上がりました。「お母さん、早く来て〜！」  
「ネズミもベッドに上がりました。「お母さん、早く来て〜！」  
マリアはベッドから飛び降りると階段のところで「お母さ〜ん、どこにいるの？」

大声で叫びました。

ネズミもベッドから飛び降りると居間で「お母さ～ん、どこにいるの？」

大声で叫びました。

でも誰も答えません。何の音もしません。マリアは台所にくるとお母さんのコーヒーカップを見つめました。半分コーヒーが残っています。ネズミも台所に来ました。

するとお母さんのお茶がいっぱい入っているお茶碗がありました。

マリア看了看妈妈的卧室，里面没有人。

小小鼠也看了看妈妈的卧室，里面没有妈妈的身影。

玛利亚找遍了客厅的每一个角落。小小鼠连窗帘户后头都看了一遍。

玛利亚来到书房，问：「爸爸，你看到妈妈了吗？」「宝贝儿，我没有看见啊！」

爸爸拍了拍玛利亚的脑袋，看上去一点儿也不担心。

小小鼠来到工作室，问：「爸爸，你看到妈咪了吗？」「宝贝儿，我没有看见啊！」

爸爸摸了摸小小鼠的鼻头，看上去一点儿也不担心。

マリアがお母さんの寝室をのぞくと誰もいません。ねずみもお母さんの寝室をのぞくとお母さんの姿はありません。マリアは応接間の隅々まで全部探しました。

ネズミはカーテンの後ろも全部見ました。マリアは書斎に行くとお父さんに「お父さん、お母さんを見なかった？」と尋ねました。「マリア、見なかったよ。」お父さんはマリアの頭をなで少しも心配してないようです。ネズミも仕事場に行き尋ねました。

「お父さん、お母さんを見なかった？」「見てないよ。」

お父さんはネズミの鼻をなで少しも心配してないようです。

玛利亚没有去问妹妹。她还是一个小小宝。小小鼠也没有去问弟弟。他还是一个鼠宝宝。

玛利亚去问哥哥：「妈妈在哪里？」哥哥说：「不知道，我真忙着呢！」说完，继续玩恐龙游戏。

小小鼠去问姐姐：「妈咪在哪里？」姐姐说：「我不知道啊！」说完，继续玩橡皮糖小熊。

マリアは妹には尋ねませんでした。なぜなら妹はまだ赤ちゃんだからです。

ネズミも弟には尋ねませんでした。なぜなら弟はまだネズミの赤ちゃんだからです。

マリアはお兄さんに尋ねに行きました。「お母さん知らない？」「知らないよ。僕は忙しいんだ。」言い終わると怪獣ごっこの遊びを続けました。

ネズミはお姉さんに尋ねに行きました。「お母さん知らない？」「知らないわ。」

言い終わるとチューインガムの熊さんと遊びを続けました。

「妈妈不见了！」玛利亚叫起来。「妈咪消失了！」小小鼠也叫起来。

门外，玛利亚妈妈的汽车还停在车位上。小小鼠妈妈的手推车也还靠在门口。

不过，玛利亚妈妈的上衣没有挂在衣钩上。来到院子里，玛利亚的妈妈没有在亭子里…小小鼠妈妈的外衣也没有在蘑菇下…

玛利亚突然想起了什么，朝小木屋飞快地跑去。

小小鼠也突然想起了什么，朝小木屋飞快地跑去。

路上，玛利亚差点儿撞倒了小小鼠……小小鼠差点儿绊倒了玛利亚……

「お母さんがいないよ～！」マリアが大声で言いました。「ママがいないよ！」

ネズミも大声で言いました。

門の外では、マリアのお母さんの車は駐車場に停まっています。ネズミのお母さんの手押し車も入り口にあります。

でも、お母さんのコートはコート掛にありません。庭に出てみても小屋の中にもいません…ネズミのお母さんもキノコの下にもいません。

マリアは何を思いついたのか、朝、急いで小屋の方に行きました。

ネズミも何を思いついたのか、朝、急いで小屋の方に行きました。

途中、マリアはもう少しでネズミとぶつかりそうになりました。ネズミももう少しでマリアに踏まれそうになりました。

她们俩看见了……猜猜，看见了谁？

「啊—抓到你们啦！」女孩们喊起来。「不—是我们抓到你们啦！」妈妈们也喊起来。

「我们在一起聊天，真开心啊！」玛利亚的妈妈说。

玛利亚和小小鼠找到了妈妈，终于可以放心了。不过，妈妈们也是好朋友的秘密，太让人吃惊了！玛利亚高兴地笑着，拍着手：小小鼠跳起舞来，转了一圈又一圈。

二人は見つけました……当ててごらんなさい、誰を見つけたのでしょうか？

「見つけた！」女の子は叫びました。「違うわよ、私たちが見つけたのよ！」

お母さんたちは言いました。

「私たちはずーっとおしゃべりしてたの。愉しかったわ！」マリアのお母さんが言いました。

マリアとネズミはおかあさんを見つけやっど安心しました。

でもお母さんたちも友だち同士の秘密があります。驚きますね。

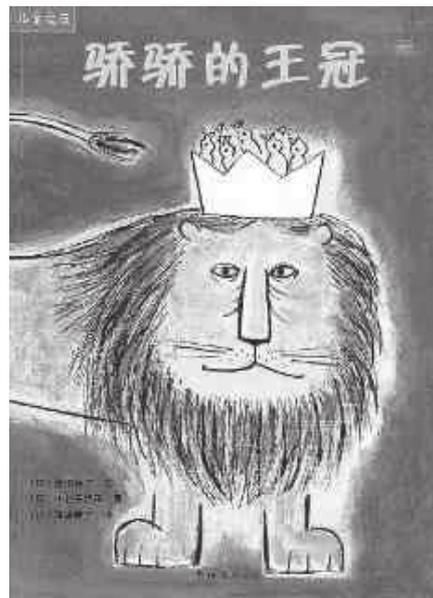
マリアは嬉しそうに笑って手を叩きました。ネズミもはねて踊ってくるくる回りました。

玩了一会儿，玛利亚走过来，坐到了妈妈旁边。小小鼠也走过来，坐到了玛利亚腿上。  
「妈妈，睡觉前，给我讲故事吧！」玛利亚说。「我也要听故事。」小小鼠说。  
于是，小姑娘的妈妈和小小鼠的妈妈带着她们的女儿，一起回到了房子里。  
妈妈们把女儿们带回床上，给她们盖好被子，亲了亲额头。  
然后，给她们讲了一个美好的故事。嗯，那是一个怎样的故事呢？

しばらく遊んだあとマリアはお母さんの側に座りました。ネズミも走って来、お母さんの膝に座りました。「お母さん、寝るときにお話してね。」「私も聞きたい。」ネズミが言いました。そこでマリアのお母さんもネズミのお母さんも二人を連れて部屋に帰って行きました。マリアのお母さんもネズミのお母さんもベッドに寝かせお布団をかけ額をよせました。それから約束通り、楽しい話をしました。そうですね、一体どんなお話だったのでしょうか？

② 『ジオジオのかんむり』

(岸田 衿子；文 中谷 千代子；絵 猿渡静子 译 福音館書店)



この絵本は『ジオジオ』という名の年老いたライオンが自分の頭の王冠の中で小鳥を育てる話である。日本の幼児も大好きな優れた絵本である。本来、強くて恐ろしいイメージのあるライオンが親鳥から頼まれたヒナを優しい気持ちで自分の頭の中で育てる話に子どもたちは引き込まれる。

中国の幼児にこの話をどのように伝えようとしているのか表紙裏の紹介文からみる。

《骄傲的王冠》是一个发生在强者和弱者之间的故事。

狮子骄傲是一位年老而寂寞的狮王。一天，一只因为失去孩子而同样寂寞的灰鸟来到骄傲身旁，他们互相安慰，互相帮助，从此他俩都不再寂寞。

作家岸田衿子用淡淡的笔触讲述了一个充满温情的故事，故事寓意丰富，既有强者晚年的悲哀和对温暖的需求，又有新生命对心灵的托慰作用。

画家中谷千代子用她擅长的油画技法和鲜亮色彩巧妙地烘托出了主题，不仅能令孩子产生阅读兴趣，还能引导他们去细细体会故事背后的深意。

《ジオジオの冠》は強者と弱者との間に起こった話である。

ライオンのジオジオは年老いた寂しいライオンである。ある日、一羽のヒナを失くしジオジオと同じような気持の灰色の鳥がやってきて互いに慰め合い、助け合い、この時から二人はもう寂しくはなくなった。

作者の「岸田衿子」は淡々としたタッチで温かく心豊かな物語を展開している。

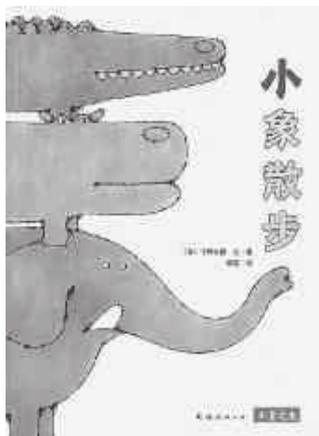
そして強者は年老いと哀しいものであり温かさを求めること、そして新しい命に対しては精神的な支えとなる役割も果たしている、と述べている。

画家の「中谷千代子」は彼女の得意とする油絵技法と鮮やかな色彩でもってこの話のテーマを浮きだたせている。そしてこの事は、子どもたちに読んでみたいと思わせるだけでなく、物語の背景にある深い意味を細やかに理解させることができる。

適切な内容であるとは思いますが、この絵本は幼児が大好きな話であり「強者や弱者」

「年老いての悲哀」などは幼児が感じなくてもいいものである。この絵本から「ジオジオライオンの優しさ」「新しい命の誕生」などふんわりした世界を味わえればいいのではないか？

(2) 『ぞうくんのさんぽ』（中野 弘隆；文・絵 李 奕译 福音館書店）



この絵本はゾウくんが散歩しているとカバくんに会いワニさんに出会い、ちいさなカメくんに出会い…どンドン歩いていくと…池にボチャーンとはまってしまう。

こんな単純な話であるが淡い色調や幼児の好きな“繰り返し”の心地よい言葉のリズムで話が進んでいく。

《小象散歩》在日本是一本广受欢迎的儿童读物，自出版以来销量已突破百万册。晴朗的一天，小象在散步途中遇见了小河马，小鳄和小乌龟，并让他们一一骑自己的背上，扮演起了大力士的角色……故事在平静的叙述中暗藏高潮，简洁幽默的语言便于孩子理解，糅合的色彩和可爱的画风带给孩子与众不同的视觉享受，让孩子和小动物们共同体验一次欢快的旅程。

《ぞうくんのさんぽ》は日本で広く子どもたちに愛されている絵本で出版以来100万冊を突破している。

よく晴れた日、小象は散歩の途中、カバくん、ワニさん、カメくんたちにばったり会う。彼らを次々と背中に乗せ力自慢を見せようとするが……

物語の中には静かな中にも思わぬ出来事が潜んでいます。簡潔でユーモアあふれる言葉は幼児が理解しやすく、柔らかい色調の色と可愛い絵は楽しさに溢れ

子どもたちを小さな動物たちと一緒に楽しい旅に連れて行ってくれます。

(3) 『だるまちゃんとてんぐちゃん（；文・絵 福音館書店音館書店）』



《小达摩和小天狗》是加古里子最受读者喜爱的绘本之一。“达摩”在日本是模仿达摩祖师参禅打坐的婆势，渐渐演变而来的不倒翁玩具；天狗则是日本民间传说中的一种妖怪。故事中的小达摩顽皮可爱又有一点儿任性，看见小天狗拿的团扇，戴的帽子他没有，就急急忙忙跑回家去要。偏偏有一位乐于满足这些“胡搅蛮缠”的要求的老达摩，把各式各样的东西七七八八摆了一地。

看老大摩忙得晕头转向，还闹笑话的样子，真是让人忍俊不禁。这个故事轻松幽默，小大摩天真无邪的童趣，老大摩温和敦厚的长者风范，都能够带给我们暖暖的感动。

《だるまちゃんとてんぐちゃん》は加古里子作品の中で読者に最も愛されている絵本の一つです。“だるま”とは日本における達磨同師を模倣とし、徐々に転んでも倒れない玩具へと変化してきました。“てんぐ”とは日本の民話の中に出てくる怪物の一つです。話の中の小さなだるまちゃんは腕白で可愛くて少しわがままです。てんぐちゃんの持っている団扇や被っている帽子を見るとほしがります。これらのむちゃくちゃのだるまちゃんの注文をお父さんのだるまドンは聞き入れ次々と品物を並べてみます。だるまドンが頭を抱える様子は可笑しくもありますが私たちをホッとさせます。この話はユーモアがありだるまちゃんの子どものらしい邪気の無い無邪気な様やだるまドンの温和などっしりとした風格ある様は私たちに温かい感動をもたらします。

### ○おわりに

7作の絵本を訳してみても中国も優れた絵本を幼児に与えたいと願っていることが伝わってきた。例えば 1. 中国独自の絵本 と 2. 翻訳されている作品 を読み比べてみる と前者の方が興味深い作品が多い。一方、外国作品を翻訳している絵本を見てみると《紹介文》からしても察しられるように理屈を語っている。尤も幼児の言語を彼らの好む軽快で分かりやすい中国語でもって訳することは難しいと思う。

しかし絵本は幼児が楽しめるものであることが大原則である。幼児の感性でもって楽しんで読むものである。そこには如何なる教訓も説教も要らないと考える。

そのような意味からも素朴で単純でしかも芸術性の高い作品が生まれることを願っている。今や世界中が一つになる時代だろう。未来を担っていく子どもたちには、自国の文化のよさ、外国の文化のよさに触れ、どんどん視野を拡げて行ってほしいと願う。

### 〈参考文献〉

『中国传统节日故事』（可南／文、马得 朱成 刘大为等／图）  
『新华字典』・『简明汉日词典』・『岩波 中国語辞典』・『中日大辞典』